

「浦和博物館特別展」

五関村文書と その時代

幕領と旗本
領主2人の村



五関村絵図

平成30年 **10月20日[土] - 12月2日[日]**

会場 | 浦和博物館展示室 **入館無料**

開館時間 | 9時～16時30分 休館日 | 毎週月曜日、11月6日火、11月27日火

さいたま市立 浦和博物館

所在地 | 〒336-0911 さいたま市緑区三室2458 TEL・FAX | 048-874-3960

URL | <http://www.city.saitama.jp/004/005/004/005/002/index.html>

交通 | JR京浜東北線北浦和駅下車 東口から東武バス「さいたま市立病院」行きバス約15分、
終点「さいたま市立病院」下車すぐ

※専用駐車場が狭いため（駐車可能台数2台）、なるべく上記公共交通機関をご利用ください。



このチラシは6,000枚印刷し、一枚当たりの印刷経費は17円です。

[浦和博物館特別展]

五関村文書と その時代

幕領と旗本
領主2人の村

五関村文書は、江戸時代から昭和戦前までの間に五関村(現・桜区五関)で作成された、498点の村の行政に関わる文書です。これらの資料は、長年にわたって五関地区の人々によって大切に伝えられ、近年さいたま市に寄贈されたものです。

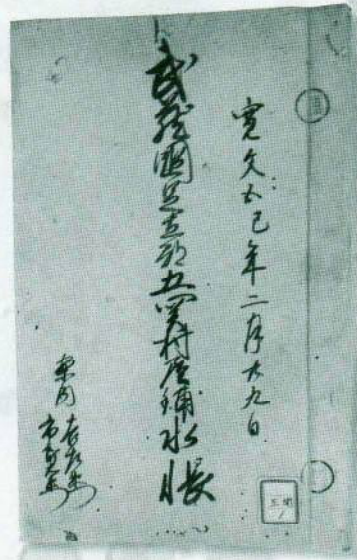
今回の展示では、同文書のうち江戸時代から明治初期までを中心とした、特色ある約40点の資料を公開し、当時の五関村の様子や地域の特性について考えます。



議定一札之事 (大宮宿伝馬勘方)

展示構成

- ①五関村の概況
- ②検地から年貢収納まで
- ③土木工事と村の関わり
- ④村の自治 様々な取り決め
- ⑤村の生活を垣間見る



武蔵国足立郡五関村屋鋪水帳
(市指定有形文化財)



證(県舎其外新宮費受取)

関連講座

「古文書が語る五関村」～近世文書を中心に～

日時 | 11月17日(土) 13時30分～15時30分

講師 | 岩下祥子氏(国士舘大学文学部講師)

会場 | さいたま市立大古里公民館 視聴覚室
さいたま市緑区三室2614-2

(JR京浜東北線北浦和駅東口からさいたま市立病院行き東武バス「北宿」下車徒歩8分)

※公民館の駐車場はありません。上記公共交通機関をご利用ください。

定員 | 50名

申込み | 10月24日(水)

午前9時から電話
で受付(先着順)

参加費 | 無料

学芸員による展示解説

参加費・申込不要

日時 | 10月20日(土)、11月3日(土・祝)、
11月18日(日)

10時～、14時～ 各30分程度

時間までに浦和博物館までお越しください。